

和光の緑と湧き水だより 会報 Verda 147号

NPO 法人 和光・緑と湧き水の会 会報発行 2014年12月号 代表理事 高橋絹世 (462-9912)
 身近な自然を知って守り伝えよう <http://wako-wakimizu.org/>

	全体会	新倉ふれあいの森	白子・大坂ふれあいの森(地域の会と協力して)	樹林公園
26年12月	湧水環境調査中間報告会9日 (10時半～ 市役所6階)	20日(土) 定期保全	6日(土) 調査保全 18日 定期保全	
27年1月	緑と湧き水環境フォーラム・和光 2015年1月31日(土)	17日 定期保全	10日(予定) モニ1000 調査 15日 定期保全	

1. 〔市民まつり〕自然の素材で工作コーナーに約500人の市民が参加

開始直前から降り出した雨は、一時「まつり」の中止も懸念されるほどの激しさでしたが、思いのほか早く止んで、曇り空で風も強かったにも拘らず多数の参加者で「市民まつり」は賑わいました。当会の竹切り体験とムクロジのブレスレット作りも、お客さんが引きも切らず、用意した材料や各種チラシ類が底をつく盛況でした。



自慢のムクロジブレスレット 竹が切れる?ガンバレ 竹かご、竹のスタンドすべて手作り

2. 地下鉄操車場の中の湧水調査

地下鉄操車場の敷地内には、越戸川へ流入する湧水があり、10数年前にも調査したが、その後の環境を実際に調べてみることは重要なポイントです。環境課の協力もあって、10月27日に調査を行いました。川沿いの緑地の奥に湧き出しているところがあり、15年前と同じく水路と湧水地とが隣り合わせになった箇所を調査。さらに奥には、瓢箪池があり周りには樹木が育っていました。水量は衰えていない様子。線路伝いに一周するとかなり広がった。



湧水湧き出しと水路



瓢箪池の様子



操車場の線路に沿って歩く

3. 環境課、市民活動推進課、湧き水の会と合同の白子湧水群重点調査を実施

11月5日に富澤湧水に集まり、市役所から4名の参加があり重点調査を行いました。毎月の植生調査の概要を皆さんで確認し、前回までの植物リストをベースに今回の出現植物を記録しました。調査しながら、市の職員の方に特徴のある湧水環境、石垣の湧水道の仕組みや、武蔵野台地の湧水の仕組みが見られる地層、の観察もしてもらい、サワガニやヘビトンボなど生き物が棲める環境への理解も得られ、より良い協働がすすみました。



富澤湧水



大坂ふれあいの森の水路



大坂の大きく育ったヘビトンボ